

二つのまちで二倍の幸せ 二地域居住促進プロジェクト

現状・課題

- 二地域居住等の促進により、人の新しい流れが生まれ、地域の新たな担い手の確保、新たな需要による働き口の創出などが期待されている。
- 教育や子育て環境に対する注目の高まりや、複業・起業といった新しい働き方への関心など、人々の暮らしに対するニーズが多様化しており、地域側にも二地域居住者となり得る方々にとって理想の暮らしが実現できるような環境づくりが求められている。
- 特に人口が集中する首都圏から人材を多く呼び込むためには移動にかかる交通費の負担軽減を進めることが有効と考えられているが、民間事業者主導による二地域居住者向けの割引運賃等を進めるためには交通需要の創出に向けて官民で取り組まなければならない。

取組

二地域居住促進に向けた航空会社との連携

- 二地域居住者を対象とした熊野白浜リゾート空港と羽田空港間の航空運賃割引制度導入に向け、航空会社と連携した取組を実施します。二地域居住者の来訪回数の増加させ地域の賑わい創出につなげます。

二地域居住促進に向けたきっかけづくり

- 地域のニーズ、二地域居住者のニーズをとらえ、二地域居住のきっかけとなるような事業を実施し、二地域居住者を創出していきます。

寄附金の使途

航空運賃割引事業、二地域居住等を促進させるためのプログラム実施経費、プロモーション費用 等

